

社会福祉事業関係

法人本部

- 1 平成 28 年 5 月 17 日平成 27 年度監事監査を開催
- 2 平成 28 年 5 月 28 日第 1 回理事会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 議案第 1 号 地域密着型認知症対応型通所介護事業所の事業休止について
 - 議案第 2 号 平成 27 年度事業報告及び収支決算について
平成 27 年度監事監査報告について
- 3 平成 28 年 5 月 28 日第 1 回評議員会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 議案第 1 号 地域密着型認知症対応型通所介護事業所の事業休止について
 - 議案第 2 号 平成 27 年度事業報告及び収支決算について
平成 27 年度監事監査報告について
- 4 平成 28 年 12 月 11 日第 2 回理事会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会定款変更について
 - 議案第 2 号 社会福祉法人智泉会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - 議案第 3 号 社会福祉法人智泉会評議員選任・解任委員会委員の選任について
 - 議案第 4 号 社会福祉法人智泉会役員等の報酬に関する規程の一部改正について
 - 議案第 5 号 社会福祉法人智泉会定款変更に伴う諸規程の制定及び改正について
 - 議案第 6 号 会社役員損害賠償責任保険（D&O 保険）への加入について
 - 議案第 7 号 社会福祉法人智泉会非常勤職員就業規則の一部改正について
 - 議案第 8 号 基準緩和通所型サービス事業デイサービスセンターはあ
とぴあ運営規程等の制定について
- 5 平成 28 年 12 月 11 日第 2 回評議員会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会定款変更について
 - 議案第 2 号 社会福祉法人智泉会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - 議案第 3 号 社会福祉法人智泉会評議員選任・解任委員会委員の選任について
 - 議案第 4 号 社会福祉法人智泉会役員等の報酬に関する規程の一部改正について
 - 議案第 5 号 社会福祉法人智泉会定款変更に伴う諸規程の制定及び改正について

- 議案第 6 号 会社役員損害賠償責任保険（D & O 保険）への加入について
- 議案第 7 号 社会福祉法人智泉会非常勤職員就業規則の一部改正について

- 議案第 8 号 基準緩和通所型サービス事業デイサービスセンターはあとびあ運営規程等の制定について
- 6 平成 29 年 2 月 7 日第 3 回理事会を開催
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会定款変更の修正について
 - 議案第 2 号 社会福祉法人智泉会評議員・理事等の報酬に関する規程について
 - 議案第 3 号 社会福祉法人智泉会第 12 期評議員の推薦について
- 7 平成 29 年 2 月 27 日第 1 回評議員選任・解任委員会を開催
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会第 12 期評議員会委員の選任について
- 8 平成 29 年 3 月 25 日第 4 回理事会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 報告第 2 号 平成 28 年度相模原市指導監査の結果について
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会定款変更の認可について
 - 議案第 2 号 社会福祉法人智泉会給与・退職金規程の一部改正について
 - 議案第 3 号 社会福祉法人智泉会平成 28 年度収支補正予算について
 - 議案第 4 号 社会福祉法人智泉会平成 29 年度事業活動計画について
 - 議案第 5 号 社会福祉法人智泉会平成 29 年度収支予算について
- 9 平成 29 年 3 月 25 日第 3 回評議員会を開催
 - 報告第 1 号 理事長の専決事項の報告について
 - 報告第 2 号 平成 28 年度相模原市指導監査の結果について
 - 議案第 1 号 社会福祉法人智泉会定款変更の認可について
 - 議案第 2 号 社会福祉法人智泉会給与・退職金規程の一部改正について
 - 議案第 3 号 社会福祉法人智泉会平成 28 年度収支補正予算について
 - 議案第 4 号 社会福祉法人智泉会平成 29 年度事業活動計画について
 - 議案第 5 号 社会福祉法人智泉会平成 29 年度収支予算について

- 10 平成 28 年 10 月 26 日相模原市保健所による厨房立入り検査及び巡回指導の実施。

- 11 平成 29 年 1 月 18 日相模原市指導監査課による指導監査の実施。

- 12 平成 29 年 3 月 15 日高齢者施設等防犯対策強化事業に応募し監視カメラ 5 台ほか 1 台を追加設置。

- 13 平成 29 年 3 月 23 日あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と会社役員賠償責任保険（D & O 保険）の契約。

- 14 平成 29 年 3 月 15 日独立行政法人社会福祉医療機構より施設建設に伴う金銭消費貸借契約証書による借入金の完済通知受理。4 月 5 日抵当権抹消手続きを完了。

15 人材育成研修（キャリアアップ支援）により神奈川県認知症介護実践リーダー研修 1 名、相模原市認知症介護実践者研修 2 名の計 3 名が資格取得。

16 職員の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在 単位：名）

区分	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護事業所	居宅介護支援センター	ケアハウス	介護アドバイザーセンター	地域包括支援センター	合計	前年
常勤	23	6	4	2	6	6	47	53
非常勤	23	0	0	2	7	1	33	30
計	46	6	4	4	13	7	80	83

※ 前年は認知症対応型通所介護事業所常勤 4 名・非常勤 2 名を算定。非常勤は看護・介護・派遣を含む。

17 年齢構成（平成 29 年 3 月 31 日現在 単位：名）

性別・年代	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
男性	2	5	5	2	1	2	17
女性	4	9	15	19	13	3	63
計	6	14	20	21	14	5	80

18 資格保有者（平成 29 年 3 月 31 日現在 単位：名）

介護福祉士	介護基礎研修	ホームヘルパー	社会福祉士	社会福祉主事	介護支援専門員	看護師	管理栄養士	作業療法士
34	1	41	2	2	16	11	1	1

※ 複数取得者を含む。

19 職員健康診断

平成 28 年 6 月 29 日、12 月 7 日に定期健康診断を実施。

20 派遣研修

研修内容	研修件数
介護保険指定事業者指導講習会等法令遵守に関する研修会	6
介護の基礎、認知症のケア等利用者処遇に関する研修会	42
事務職員会計・労務に関する研修会	2
栄養ケアマネジメント等食事サービスに関する研修会	5
地域包括支援センター職員に関する研修会	42
居宅介護支援センター職員に関する研修会	23
相模原市高齢者福祉施設協議会各部会	15
施設内研修（伝達講習会・事故防止及び褥瘡予防等）	8
合計	143

21 利用状況

事業所名	定員	28年度実績	27年度実績	前年利用率比
特別養護老人ホーム	54	49.0	47.8	102.5%
短期入所生活介護事業	16	8.1	7.0	115.7%
認知症通所介護事業	12	3.9	5.6	69.6%
清新デイサービス	27	25.3	24.7	102.4%
居宅介護支援事業	140	116.6	101.3	115.1%
ケアハウス	30	27.5	29.9	92.0%

特別養護老人ホーム

1 利用定員・利用状況

1日の利用定員は54名、営業日数365日。

平均入所期間は3年6ヶ月。3年以上の入所者は20名。平均年齢は85.3歳。なお、100歳以上1名、90歳以上100歳未満の方が14名生活されています。

2 職員配置状況

職名	施設長	事務員	介護支援専門員	生活相談員	管理栄養士		
人数	1名	3名	1名	2名	1名		
職名	介護職員(特養)		看護職員		医師等	生活相談員	管理栄養士
人数	常勤	非常勤	常勤	非常勤	4名	10名	52名
	12名	13名	4名	1名			

3 事業実施状況

その人らしい生活の実現には、人生暦・生活暦を理解した支援が必要です。多職種が連携した生活の質の向上を目標に、その時その場で求められる支援に向けて、状況・状態観察を怠ってはなりません。研修による知識と技術の向上はもとより、嘱託医やご家族と連絡してよりよい接遇に取り組みました。

利用者満足度調査は、公益社団法人かながわ福祉サービス振興会主催の「お客様満足度調査」を受審して、サービス満足度の向上を図った。

4 入所者支援状況

個別支援の充実は、生活の質の向上のためのアセスメントとカンファレンスにより、職員と利用者、ご家族の意見をもとにしたケアプランの検討が常に必要です。作成件数は147件、うち新規作成は15。日常生活の様子を共有するためにご家族の面会時または電話等でお知らせした。

ボランティアは延べ134名。実習生48、福祉専門学校生等0、小・中学校介護体験生16、その他介護体験810でした。

事故は101件。創傷44、ベッド・車椅子転落10、歩行時転倒15、整容時介助5、誤薬4、その他23。緊急受診は11件でした。立ち上がり頻回時は見守り重視などの個別支援に努め、身体拘束ゼロに取り組んだ。

ヒヤリハットは18件。創傷0、ベッド・車椅子からの転落0、歩行時転倒1、異食1、配薬3、その他13。今後も注意して支援します。

虐待防止と人権擁護は必須の事項です。身体拘束廃止、事故防止、サービス担当者等委員会で、守るべき行為として再確認し、防止のために取り組んだ。

支援等についての苦情はありませんでした。

5 職員研修状況

研修は 16 件に参加した。

新任職員研修、認知症介護基本研修、感染症研修、介護支援専門員研修、生活相談員研修、摂食・嚥下セミナーでした。

研修内容の共有は伝達講習で行った。

6 健康管理状況

配置医師は、内科（外科医）週 1 回、歯科医週 1 回、精神科医月 2 回、皮膚科医月 2 回の訪問診療でした。

受診人数は内科（外科医）延べ 616 名、歯科医 300 名、精神科医 257 名、皮膚科医 594 名、作業療法士 2,766 名、その他受診 181 名でした。

病院との連携に努めたほか、夜間の容態悪化や状態変化に対応する緊急時連絡体制により看護職員のオンコールを実施した。

機能訓練は、作業療法士の指示により、ベッド上または機能訓練室で日常の動作訓練を行った。栄養ケアマネジメントは、栄養面から体調管理を行い、食べる楽しみや季節感を感じていただくよう取り組んだ。マネジメントは全員に行いプランは 3 ヶ月に一度見直し、状態の変化には随時対応した。延べ人数 17,945 名。

療養食は、疾病や身体への負担軽減を目標に行った。延べ人数 2,496 名。糖尿病食 1,200cal 365 名。糖尿病食 1,400cal 1,596 名。貧血食 365、腎臓病食 170。低栄養対象食 7,394 名でした。

定期健康診断は 2 回。血液検査、心電図・胸部レントゲン検査。診断結果は嘱託医に報告して再検査が必要な場合にはご家族に説明しますが、特に問題視されるものはなかった。

感染予防対策はインフルエンザワクチン接種、希望者には肺炎球菌ワクチンを接種した。職員間では、毎月開催する衛生管理委員会で、衛生面の意識啓発と予防への取り組み、マニュアルに沿った手洗いとうがい、マスク着用、清掃方法等を再確認した。

7 会議・委員会等開催状況

会議や委員会は毎月 1 回定期的に開催し、支援のための問題や課題を検討し、結果をフロア会議等で周知した。

8 防災訓練実施状況

日中及び夜間の火災想定訓練を各 1 回実施。その他、非常食数と消費期限の確認、非常用発電機を使用して停電時の対応を確認した。

9 生活活動状況

原則として午前 6 時 30 分から 7 時 30 分の起床・洗面から一日が始まります。朝食、入浴、体操、昼食、レクリエーション、夕食、就寝と生活表に沿ったサービスを行った。外気浴や散歩、生活リハビリテーション等で日中の活動性を高め、夜間の安眠が確保されるよう努めた。

10 行事計画実施状況

毎月のお誕生会を実施したほか、歌や踊り、演奏会を実施した。家族参加行事は3回。納涼祭、敬老会、クリスマス会は多勢のご家族に参加いただいたほか、家族説明会を2回開催した。

11 入退所及び利用状況

入退所状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計		
28年	退所者数	0	1	3	0	1	1	6		
	入所者数	1	1	4	0	3	0	9		
	在籍者数	49	49	50	50	52	51	50.17		
27年	退所者数	1	1	2	0	1	2	7		
	入所者数	1	0	1	0	0	0	2		
	在籍者数	53	52	51	51	50	48	50.83		
入退所状況		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年 計	
28年	退所者数	3	2	0	1	0	3	9	15	
	入所者数	2	1	2	0	0	2	7	16	
	在籍者数	50	49	51	50	50	49	49.83	50.00	
27年	退所者数	1	1	1	2	0	1	6	13	
	入所者数	0	2	2	0	1	1	6	8	
	在籍者数	47	48	49	47	48	48	47.83	49.33	

(備考) 平成28年度の平均介護度は4.0でした。

利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計		
28年	利用人数	1,402	1,494	1,485	1,528	1,517	1,475	8,901		
	日平均	46.73	48.19	49.50	49.29	48.94	49.17	48.64		
	入院人数	43	20	32	22	59	70	246		
	空床等数	175	160	103	124	98	75	735		
27年	利用人数	1,521	1,541	1,530	1,512	1,517	1,456	9,077		
	日平均	50.70	49.71	51.00	48.77	48.94	48.53	49.60		
	入院人数	66	91	18	69	49	22	315		
	空床等数	33	42	72	93	108	142	490		
利用状況		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年 計	
28年	利用人数	1,515	1,455	1,553	1,554	1,400	1,508	8,985	17,886	
	日平均	48.87	48.50	50.10	50.13	50.00	48.65	49.37	49.00	
	入院人数	31	6	5	24	0	11	77	323	
	空床等数	128	159	116	96	112	155	766	1,501	
27年	利用人数	1,372	1,389	1,440	1,420	1,327	1,456	8,404	17,481	
	日平均	44.26	46.30	46.45	45.81	47.39	46.97	46.18	47.89	
	入院人数	101	28	37	69	54	23	312	627	
	空床等数	201	203	197	185	185	195	1,166	1,656	

12 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業状況

年末年始(12月29日～1月4日)を除く毎週月・火・木・金曜、205日稼働し、延べ7,625食(37.2食/日)給食した。

13 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

短期入所生活介護事業所

1 利用定員

1日の利用定員は16名、営業日数358日。

2 職員配置状況

職名	介護職員
人数	6

3 事業実施状況

ご自宅での生活や心身の変化は、ご家族や居宅介護支援事業所と連携して情報を収集。自立支援に向けた介護を心掛けることができた。この積み重ねは相互の関係強化につながった。引き続き努力します。

4 利用者支援状況

個別支援の充実には、利用者のご家族の意向をうかがうほか、職員間で行うアセスメントとカンファレンスをもとに、ケアプランに必要とされる支援内容の検討と見直しから、在宅生活の維持を目標に支援した。作成件数は30件。新規作成は19件。

事故は、内出血・表皮剥離17件、歩行・立ち上がり転倒6件、ベッド・車椅子転落転倒0件、誤薬1件、その他5件。緊急受診2件でした。

ヒヤリハットは1件。内出血0件、ベッド・車椅子転落転倒0件、その他1件。

虐待防止と人権擁護は必須の事項です。身体拘束廃止、事故防止、サービス担当者等委員会で、守るべき行為として再確認し、防止のために取り組んだ。

支援等の苦情はありませんでした。

朝夕の送迎は延べ986名。走行中の安全確保、利用者の様子観察に留意し、お迎え時のご様子や心身の状況を確認、お送り時は利用中のご様子を口頭でお伝えするなどした。車両の安全走行と昇降機の取り扱いを職員間で徹底した。

5 健康管理状況

毎月の感染防止委員会で健康管理、衛生管理に係る意識啓発と、マニュアルに沿った予防策等を再確認し、在宅での体調と服薬状況などを事前に伺い、健康管理、感染予防に努めた。

また、状態の変化はご家族に連絡し、急変時の処置方法や連絡先を再確認して健康維持・保持に努めた。

6 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計		
28年度	利用人数	225	249	252	248	264	265	1,503		
	日平均	7.50	8.03	8.40	8.00	8.52	8.83	8.21		
27年度	利用人数	240	227	218	230	252	232	1,399		
	日平均	8.00	7.32	7.27	7.42	8.13	7.73	7.64		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年 計	
28年度	利用人数	273	230	258	216	187	226	1,390	2,893	
	日平均	8.81	7.67	8.32	6.97	8.90	7.29	7.64	8.08	
27年度	利用人数	230	208	197	197	142	205	1,179	2,578	
	日平均	7.42	6.93	6.35	6.35	5.07	6.61	6.48	7.04	

(備考) 平成 28 年度の平均介護度は 3.4 で大差なく推移した。

7 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

認知症対応型通所介護事業所

1 利用定員

1日の利用定員は12名、営業日数86日。

2 職員配置状況

職名	管理者	生活相談員	介護職員
人数	1	1	2

3 営業日及び営業時間

営業日は祝祭日を含む月曜日から金曜日。営業日数は86日でした。営業時間は午前10時から午後5時20分の7時間20分で実施した。

4 事業実施状況

日常生活動作における自立支援は、利用者の介助の必要性を見極め、自立を妨げない最低限の介助（支援）を行った。自立度に関わらず、施設内の散歩や役割など自発的行動は制限せずに見守り、精神面における自立支援は認知機能に応じてコミュニケーションの妨げになっている部分をさり気なく支援した。

5 利用者支援状況

生き生きとそしてありのままに過ごせることによって得られる心理的安定のため、個人の尊厳を尊重したサービスの提供に取り組んだ。

個別支援の充実は居宅介護支援事業所のケアプランに沿った通所介護計画について、実施・評価・検討・見直しを行った。

清潔保持のための入浴は、一般浴延べ133名、機械浴109名。「気持ちがいい」と感じられる雰囲気作りと、当日の心身の状況に合わせてシャワー浴・個別浴・部分浴・全身清拭を行った。

レクリエーションや余暇活動は、見当識を強化できるよう花の貼り絵など季節感のある製作活動に重点を置いた。おはぎづくりなどの調理や、じゃがいもをはじめとする野菜の世話も、季節を感じられる活動となった。外出の機会も多く、花や景観を観賞しながら機能訓練を実施した。活動は活動そのものを目的とせず、その中で生まれる人との関わりにより、エピソード記憶を引き出し、心身の活性化に重点を置いた。

介護支援専門員、ご家族との連携による個別支援は、認知症の進行に応じ、自宅での様子とすり合わせながらケア方法の検討を協働した。

身体拘束ゼロの推進は該当ケース0件。人権擁護の観点から、身体拘束ゼロを目指す取り組みの必要性を朝の申し送り時やデイサービス会議にて話し合った。

事故はありませんでした。ヒヤリハットは内容にばらつきがあり統計は取れませんが、予測が立たず対応策がなかったものが主となった。

苦情はありません。

虐待防止法と人権擁護は、入浴時の外傷チェックを徹底し早期発見に努め

た。高齢者虐待防止マニュアルの作成には職員全員で関わりながら内容を周知した。

朝夕の送迎は延べ 671 名。時間や車椅子の昇降手段など各家庭のニーズに応えることができるよう調整。ご家族のストレスを汲み取れるような言葉かけに努めた。

運転操作や安全確保は送迎マニュアルに沿って適切に実施した。

6 職員研修状況

月々のデイサービス会議では、「認知症の理解」「高齢者虐待防止」「倫理・法令遵守」などの研修を行った。

7 健康管理状況

毎月の衛生管理委員会での健康管理、衛生管理に係る意識啓発により、感染症発生予防を徹底した。

8 防災訓練実施状況

人命の安全確保と被害防止のために、利用者と職員が一体となった防災訓練・避難訓練を実施した。また、災害対策マニュアルの見直しには職員全員で関わり内容を周知した。

9 生活活動状況

午前 9 時の送迎開始、10 時から 17 時 20 分のサービス提供時間に入浴、食事、個別レクリエーション、外出など生活表に沿ったサービスを実施した。

10 行事計画実施状況

日々の動機づけから食欲のない利用者がはしゃぎながら食べたり、ゲーム等の物珍しさから会話や交流が増えたりと盛り上がりました。

11 利用状況

サービス提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計		
28年度	営業日数	21	22	22	21			86	
	利用人数	91	94	78	71			334	
	日平均	4.33	4.27	3.55	3.38			3.88	
27年度	営業日数	22	21	22	23	21	22	131	
	利用人数	121	121	129	136	126	125	758	
	日平均	5.50	5.76	5.86	5.91	6.00	5.68	5.79	
サービス提供月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年計	
28年度	営業日数							0	86
	利用人数								334
	日平均								3.88
27年度	営業日数	22	21	23	20	21	23	130	261
	利用人数	136	117	110	110	107	109	689	1,447
	日平均	6.18	5.57	4.78	5.50	5.10	4.74	5.30	5.54

12 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

市立清新デイサービスセンター

1 利用定員

1日の利用定員は27名、営業日数258日。

2 職員配置状況

職名	施設長	管理者 (生活相談員兼務)	生活相談員 (介護職員兼務)	事務員	看護職員	栄養士
人員	兼務	1名	1名	兼務3名	3名	兼務
職名	介護職員		機能訓練指導員	その他	計	
人員	常勤	非常勤	1名	1名	19名	
	4名	3名				

3 営業日及び営業時間

祝祭日を含む月曜日から金曜日(年末年始12月30日から1月3日は休業)。営業日数は258日でした。営業時間は午前9時20分から午後4時40分の7時間20分で実施した。

4 事業実施状況

利用者の心身の特性を踏まえ、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立生活を営むことができるよう生活上の世話及び機能訓練を行った。また利用者の意欲をより引き出すために働きかけを行い、可能性を最大限引き出せるよう支援した。個々のニーズを捉えた居宅サービス計画書に沿って利用者の立場に立ち、目標に向けたサービスを提供した。

利用者満足度評価は、公益社団法人かながわ福祉サービス振興会主催の「お客様満足度調査」を受審して、サービス満足度のさらなる向上を図った。

5 利用者支援状況

レクリエーション、行事などが、その人によりふさわしいものとなるよう個別支援の充実に向けて取り組み、心理的、肉体的負担にならぬよう配慮した。

利用者本人及びご家族、居宅介護支援事業所間でアセスメントを行い、支援の充実に向けて評価・検討・見直しを行った。作成件数91件、新規作成は33件。

入浴は、一般浴延べ3,834名、機械浴1,499名。ゆっくりと入浴気分を味わえるよう心掛け、清潔保持に努めた。

環境整備は専門員による室内外の清掃・整理整頓のほか、植栽は近隣住民に配慮した環境づくりに努めた。

ボランティアは延べ420名、見学者延べ91名、福祉専門学校実習生36名、中学校介護体験16名でした。

朝夕の申し送りでも人権擁護を目的に、身体拘束ゼロに取り組んだ。

事故は1件。大事には至らなかったが、職員一同で再発防止策を講じ周知

した。ヒヤリハットはありませんでした。

苦情はありません。

虐待防止法と人権擁護は必須の事項です。心理的、身体的虐待防止に向けて取り組んだ。

朝夕の送迎は延べ 12,028 名。走行中の安全確保、利用者の様子観察に留意し、お迎え時にはご様子と心身の状況を確認、お送り時は利用中のご様子を口頭でお伝えするなどした。車両の安全走行と昇降機の取り扱いを職員同士で徹底した。

6 職員研修状況

34 件に参加した。内容は報告会等を通じて資質及び能力の向上に伝達した。

施設内研修は、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止、ノロウイルス感染と予防、リスクマネジメント、権利擁護、社会保障制度。施設外研修は、労働災害防止のための安全衛生教育、施設における集団感染予防、結核、認知症、接遇、移動・移乗技術、介護福祉士対策、看護職員研修でした。認知症介護実践者研修、ファーストステップ研修を各々1名が受講した。

7 健康管理状況

毎月の感染防止委員会で健康管理、衛生管理に係る意識啓発と、マニュアルに沿った予防策等を再確認し、在宅での体調などを事前に伺い、発生予防と防止に努めた。

8 防災訓練実施状況

施設上階に居住する市営住宅居住者及び関係者と合同の訓練を2回実施した。7月14日は、地震により厨房からの出火を想定した情報伝達・避難誘導・初期消火・救護訓練と緊急通報。3月20日は、日中に震度6強の地震により建物が損壊することを想定して避難訓練を実施した。

9 生活活動状況

午前8時30分送迎開始。サービス提供時間は午前9時20分から午後4時40分。入浴待ち時間の創作活動、個別機能訓練、入浴、食事、個別レクリエーション、ADL体操、集団レクリエーション、音楽鑑賞など、生活表に沿ったサービスを実施した。

10 行事計画実施状況

2月の外出レクリエーション（観梅）は天候がすぐれず実施できなかったが、初詣、節分豆まき、お花見、鯉のぼり見学、花菖蒲見学、七夕飾り、フラワーアレンジメント、夏祭り、清新大運動会、クリスマス会、餅つき大会、菖蒲湯・ボタン花弁湯・バラ湯・ゆず湯等を実施した。

11 利用状況

サービス提供月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	
28年度	営業日数	21	22	22	21	23	22	131	
	利用人数	545	530	528	528	570	562	3,263	
	日平均	25.95	24.09	24.00	25.14	24.78	25.55	24.91	
27年度	営業日数	22	21	22	23	21	22	131	
	利用人数	550	508	527	560	494	536	3,175	
	日平均	25.00	24.19	23.95	24.35	23.52	24.36	24.24	
サービス提供月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年計	
28年度	営業日数	21	22	21	20	20	23	127	258
	利用人数	554	577	548	498	509	574	3,260	6,523
	日平均	26.38	26.23	26.10	24.90	25.45	24.96	25.67	25.28
27年度	営業日数	22	21	21	19	21	23	127	258
	利用人数	578	555	525	461	518	572	3,209	6,384
	日平均	26.27	26.43	25.00	24.26	24.67	24.87	25.27	24.74

(備考) 平成28年度の利用日数は、通所介護 5,691名、予防通所介護 324名
通所型独自 508名(事業対象者、要支援1・2)でした。

12 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

1 利用定員・利用状況

1日の利用定員は30名、営業日数365日。

平均入居期間は4年7ヶ月。5年以上の入居者は7名。平均年齢は84歳。最高年齢は98歳が生活されています。

2 職員配置状況

職名	施設長	事務員	生活相談員	介護職員	管理栄養士
人数	兼務	兼務3名	1名	1名	兼務
職名	宿直員	清掃員	調理員	合計	
人数	4名	2名	1名	14名	

3 事業実施状況

居宅生活において安心して過ごせるよう職員は日々の様子を観察。様子は職員同士で共有するほか介護サービス提供事業所や高齢者支援センターの協力を得て自立した日常生活の維持に努めた。必要時にはご家族に連絡し連携して支援するなど必要な支援を行った。

新しく入居された方には、できるだけ多くのコミュニケーションを取り、ケアハウスでの生活に慣れていただけるよう努めた。

4 入居者支援状況

個別支援の充実は、施設内で各種のレクリエーションを行い、ADL・QOLの向上に努めています。生活について意見と希望を傾聴する運営懇談会は、食事や入浴、集団生活、体調管理に関して話し合ったほか行事計画を検討。外食会、夕涼み会、クリスマス会を開催した。

食べる楽しみ食事は、嗜好やメニュー構成・調理方法の検討と工夫を食事サービス委員会で行い、内臓疾患には特別食の提供と栄養指導を行った。

事故は施設生活の継続を困難にすることが多くあります。レクリエーションには予防を目的とした体操を取り入れるほか、介護サービスの利用と福祉用具の使用を奨励しています。

5 職員研修状況

相模原市高齢者福祉施設協議会ケアハウス部会に出席。入居者の課題解決の事例検討会や感染・事故防止について情報交換を行い資質向上に努めた。

6 健康管理状況

体調管理は入居者の自己管理です。日々の様子観察とコミュニケーションにより推察しています。身体状況把握は、介護サービス提供事業所からの情報等を考慮して、必要と思える場合にはご家族に連携して早期の受診など支援に努めた。

感染症予防は、手洗い・うがい研修や報道等をもとにしてメニュー変更を行っています。特養嘱託医の協力を得てインフルエンザ予防接種は18名が接種した。

7 防災訓練実施状況

日中及び夜間の火災想定避難訓練を各1回実施。非常時持出品を始め避難経路の確認を重点に行った。

8 生活活動状況

毎日の食数管理、浴室及び共用部分の清掃と屋外の環境整備に努めたほか、デイサービス利用者には利用日を忘れることがないように日々に声掛けと見守りを行った。また居室での孤立した生活を防止するためレクリエーションへの参加を呼びかけた。

外出・外泊は自由です。外出は外出先及び帰宅時間を記録して出掛けますが、予定時間までに帰宅されない方や、大幅に遅れて帰宅される方もいます。安否の確認に向けて連絡義務の徹底に努めています。

9 行事計画実施状況

入居者にあった活動として、ボランティアの協力を得て3B体操、書道、囲碁、お花、音読、塗り絵、喫茶などを行った。日帰り旅行を中止し、前年度に引き続き全員参加を目標にお誕生日会食を木曽路で行った。入院中で欠席1名を除き全員が参加されて大変喜ばれた。

10 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

管理保守項目	法定点検／点検（実施日）	任意点検	回数
建物管理	建物定期検査 平成 28 年 9 月	月次管理	13 (1)
自家用変電設備	定期検査 平成 28 年 11 月	月次管理	13 (1)
エレベーター設備	定期検査報告 平成 29 年 1 月	月次管理	13 (1)
消防設備	消防設備全般保守 平成 28 年 10 月（総合）	平成 28 年 4 月（機能点検）	2 (1)
受水槽清掃・水質検査	受水槽清掃業務 平成 29 年 3 月	目視点検（4回）	5 (1)
簡易水道検査	飲料水水質検査 平成 28 年 4 月	維持管理状況	1 (1)
空調設備	4・5・6・10・11 各月	空調機器点検 空調機フィルター清掃	5
浴槽濾過設備	4・7・10・1 各月	浴室濾過装置点検 水質検査（2回）	4
害虫・鼠防除	5・8・10・1 各月	全館害虫消毒・毒餌の設置	4
洗濯設備	6・10・2 各月	洗濯室内機器点検	3
給排水設備	6・12 各月	各種ポンプ点検	2
機械式立体駐車場	6・9・12・3 各月	立体駐車場設備点検	4
計			69 (6)

（ ）は法定点検

清新デイサービスセンター主たる保守・管理状況

管理保守項目	法定点検／点検（実施日）	任意点検	回数
建物管理		月次管理	12
自家用変電設備	自家用電気工作物保守 平成 28 年 12 月	隔月実施【偶数月】	6 (1)
消防設備	消防設備全般保守 平成 28 年 10 月（総合）	平成 29 年 3 月（機能点検）	2 (1)
受水槽清掃・水質検査	受水槽清掃業務 平成 28 年 7 月		1 (1)
真空式温水器保守	7・10・3 各月	給油ボイラー運転状況	3
浴槽濾過設備	ろ過器：7・10・3 各月 水質：5・7・12・2 各月 配管：12 月	運転状況（3）・水質検査（4） 配管洗浄（1）	4
害虫防除	7 月	薬剤補充・生息調査	1
ポンプ等点検・保守	6・12 各月	機能点検	2
フィルター等清掃	7・1 各月	空調・厨房ダクト	2
室内定期清掃	7 月	ワックス・カーペット洗浄	1
電話等設備保守	9・2 各月	機能点検	2
自動ドア保守	6・10・2 各月	運転状況	3
床暖房機器保守	11・3 各月	機能点検	2
計			41 (3)

（ ）は法定点検

公益事業関係

居宅介護支援事業所

1 利用定員

職員1名あたり35名、月定員140名。

2 職員配置状況

職名	管理者 (介護支援専門員兼務)	介護支援専門員	計
人員	1名	3名	4名

3 事業実施状況

ケアプランは、利用者やご家族の意向と希望により、必要とされる支援計画書をもとに事業所を紹介しています。サービス提供は、自立支援と生活の質の向上を目標に、課題等を検討・評価して取り組んでいます。改善策には保健福祉行政機関・医療機関と連携するケースもあり、在宅でより安心した生活ができるよう連携を一層強化するほか自己研鑽に努め、よりよいプランになるよう支援した。

利用者満足度調査は、公益社団法人かながわ福祉サービス振興会主催の「お客様満足度調査」を受審して、サービス満足度の向上を図った。

4 個別事業計画実施状況

(1) 被保険者及びご家族の相談対応及び支援

最低月一回の居宅訪問による面接と電話での聞き取りから相談支援を行った。

(2) 被保険者の訪問調査

要介護認定調査（市の委託）を行った。

(3) 指定居宅サービス事業者に関する情報提供

利用者のご家族のご希望等に沿うよう、複数のサービス事業所の中から選択できるよう支援した。

(4) 居宅サービス計画

新規・更新・変更時など必要に応じて作成した。

(5) サービス課題の把握と分析及び評価

アセスメント及びモニタリング様式を用いて行った。

(6) 保険医療・福祉サービス提供機関との連携

利用者のご家族の意向に沿って支援する中で、高齢者相談課・高齢者支援センター・障害福祉相談課・生活支援課・医療機関等と連携するほか、地域の交流会、地域ケア会議への参加から、行政及び関係機関から

の情報をもとに支援した。

(7) 保険者（県・市）との連携

説明会等への参加と介護保険法運営規定遵守のための相談など、保険者と連携して取り組んだ。

(8) 事故発生時の対応

事故はありませんが、サービス利用に関する要望等は内容の確認など、事業者との間で可能な限り連絡調整した。

5 防災訓練実施状況

日中の火災想定訓練を1回実施した。

6 利用状況

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	
28年度	107	111	114	118	120	121	691	
27年度	91	95	96	95	98	96	571	
利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年 計
28年度	116	113	116	124	118	121	708	1,399
27年度	102	106	108	109	112	107	644	1,215

7 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

清新地区の人口（平成 28 年 10 月現在） 30,165 名
 高齢者人口 5,875 名（19.5%）

1 職員配置状況

職名	センター長	主任介護支援専門員	保健師	社会福祉士	介護支援専門員
人数	兼務	1	1	1	3

2 事業実施状況

高齢者等を支える地域ケア体制の推進を目標に、迅速、柔軟、丁寧な地域密着型の相談窓口として地域住民に対応し、以後も継続した支援に努めた。

一人暮らし、高齢者世帯、障害者、精神疾患等に対して、今後も地域関係者と連携を図り、安心と安全なまちづくりに努めます。

3 個別事業計画実施状況

(1) 介護予防ケアマネジメント

電話、訪問、ポスティング等により、予防事業の情報提供と介護予防の必要性を説明。定期的な状況把握により予防事業への参加を呼びかけた結果、参加者数は増え予防意識がさらに高くなった。

(2) 給食サービス

現在 51 名の方々が利用しています（新規申請 11 件）。

初回面接を重視し、サービスの主旨を説明後に利用されています。年 1 回アセスメントを行い、利用者がより満足できるよう関係機関と連絡調整した。

(3) 総合相談支援

地域福祉を考える会は、民生委員、自治会、老人会の参加を得て 14 回開催し、相互により顔の見える関係構築を図った。清新ご近所みまもり活動推進委員会（7 名）による見守りマグネット、シートの配布は、清新地区まちづくり会議（地域活性化事業交付金制度）に 3 回目となる予算申請が行われ、昨年のモデル地区（4 自治会）以外の清新地域全戸に自治会、民生委員から配布された。高齢者支援センターの係りは、地域課題等の情報提供とマグネット、シート作成後の配布等に協力。ご近所見守り活動の実態把握と評価活動に協力し、より効果的なものになるよう取り組んだ。清新ラジオ体操の会は平成 27 年 4 月から矢懸公園で活動を開始。平成 28 年度は更に 2 カ所増えて活動を展開。また平成 29 年度も 2 カ所で予定されています。平成 28 年 4 月からは、身近な場所での集い場として、遊々くらぶが活動を開始。各地区でも活動が検討されています。

地域ケア会議は、平成 28 年度より個別事例部会と地域づくり部会に改編。個別事例部会 3 回、地域づくり部会 2 回を開催した。地域に必要な課題を取り上げ、地域住民が主体的に取り組める環境づくりを生活支援コーディネーターと共に検討した。

平成 28 年度の新規相談は、介護保険、福祉サービス等 377 件でした。相

談は積極的に実態把握を行い、その後も支援した。

職員のスキルアップ研修は 23 回。研修成果をもとにより幅広い情報の提供と質の高い支援につなげた。

地域行事や会議 34 回、サロン 54 回、グループホーム運営会議 17 回、地域密着型デイサービスセンター運営推進会議 7 回に参加。地域高齢者の現状と課題を把握して、ニーズに沿った福祉サービスや介護保険等の代行申請を迅速に行った。

(4) 電話訪問サービス

現在、7 名の方々に月～金曜の間で必要に応じて電話連絡をしています。台風時は安否確認のほか、独居高齢者が安心して生活できるよう支援した。

4 権利擁護に関する支援状況

(1) 成年後見制度への対応

地域 2 か所の高齢者住宅で成年後見制度の講座を開催した。参加者要望を受けて、29 年度は行政書士団体の協力を得て実施することになった。

(2) 高齢者虐待への対応

的確な情報をもとに、センターで検討をかさね、対応が必要な際は受理票を作り、高齢者相談課や地域団体と連携を図りながら支援方法を検討し、見守りや予防、防止に心がけています。

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援状況

2 月 清新地域版おおくま座で、基準緩和・住民主体サービスの説明会を開催。併せて地域内のボランティア活動と自主活動グループを紹介した。

(1) 介護支援専門員への支援

介護支援専門員との連携は、情報提供のあり方をセンター職員間で共有し、支援体制を整えた。

(2) 介護予防支援者（要支援者）

介護予防給付件数は 2,013（内委託 777 件）件でした。

6 情報提供及び啓発活動状況

高齢者地域情報誌は 1 回発行。地域関係者を通じて高齢者に配布したほか、清新包括便を平成 28 年 5 月、7 月、10 月、平成 29 年 1 月に発行。サロン、地域行事、清新ふるさとまつり、地区公民館まつり等で配布。センター事業を PR した。認知度は上がっているが、引き続き重要と考えており、今後も情報を発信します。

事務所内のフリースペースを使って行うセンター主催の集える場は賑わいを見せ、住民主体活動の場として地域との関係づくりに一助となった。

第 3 回目の高齢者支援センターまつりは中止になったが、相模原西門商店街協同組合主催の第 4 回アートフェスティバル in さがみはらに、小山、横山の 3 センター合同で参加した。来場者には各センターの情報紙を配布したほか相談コーナーを設けて PR に努めた。

(1) 家族介護支援者教室

介護者個人宅 18 回、特別企画 1 回を開催。参加者同士の思いを吐き出す

場の提供となった。平成 28 年度も地域のご協力でご自宅を開放していただき、心身の和らげる場として開催した。

(2) 認知症サポーター養成講座

講座は 6 回開催し、延べ 620 名が参加。地域の見守り協力者になっていただいた。サポーターのスキルアップ編講座、キッズを対象とした講座を開催。キッズ養成講座は、清新小学校 163 名、小山小学校 110 名、清新中学校 45 名、小山中学校 240 名、延べ 558 名が参加した。今後も協力者の養成と市民メイトへの協力に取り組みます。

7 その他の状況

(1) 住宅改修理由書作成 11 件。

(2) 介護予防教室

20 回開催し延べ 413 名が参加した。

民生委員、サロン等の協力により、多くの方々の参加を得て予防事業を展開した。転ばないための運動は人気があり、意義のある教室でした。シニアスタッフ延べ 79 名の活動は事故もなくスムーズに運営した。参加者の継続した健康づくりを目的に、自主グループ化の支援に力をいれます。

8 収支状況

詳細は別紙のとおりです。

苦情解決の結果公表について

苦情解決のための仕組み

1 目的

- (1) 苦情への適切な対応により、福祉サービスに対する利用者の満足感を高めることや早急な虐待防止策等が講じられて、利用者個人の権利を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用することができるよう支援する。
- (2) 苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や事業者の信頼や適正性を確保することを目的とする。

2 苦情解決体制

- (1) 苦情解決の責任主体を明確にするため、苦情解決責任者を置く。
- (2) サービス利用者が苦情の申し出をしやすい環境を整えるために、職員の中から苦情受付担当者を任命する。
- (3) 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮して適切に対応するため、第三者委員を委嘱する。

3 平成 28 年度の「苦情解決の結果」について

苦情を受け付けた場合は、随時記録を行い、早期の対応を図るために協議して対応している。

項 目	内 容
苦情解決マニュアル	マニュアルに沿って実施している。
第三者委員の選任	平成 28 年 4 月 2 日～平成 30 年 4 月 1 日 委員名：今井 徹氏、鎌田 千代子氏、谷口優子氏
平成 28 年度第三者委員会の開催状況及び報告概要	平成 29 年 6 月 16 日 午前 10 時 30 分 ～ 出席者：鎌田千代子氏、谷口優子氏 2 名、法人 2 名 平成 29 年 6 月 17 日 午後 1 時 30 分 ～ 出席者：今井 徹氏 1 名、法人 3 名 苦情の内容及び報告 ①苦情受付状況 各事業所の受け付けはなかった。軽微な要望等はその都度対応し苦情に至ってはいない。 ②事故等と補償費用の支払い 事故等による補償費の支払い状況について説明。 施設内において転倒事故等が発生した場合は、必要な受診とご家族への状況説明を行い、責任の有無にかかわらず保険対応の手続きを行っている。 具体的には、事故状況と内容を保険会社と相談し、適切な賠償と見舞金を支払っている。

項 目	内 容				
介護相談員の受入	毎月2名を年間を通して受け入れている。				
施設長・管理者への手紙	施設・事業所の入口やエレベーター付近に「ご意見箱」を設置 手紙はなかったが、家族会や行事などを通じてご意見やご要望を伺っている。				
施設・事業所利用者の意見・要望等の把握	サービスへの状況や要望についてはそれぞれ日常的に工夫して実施している。また、家族会や日頃の面会時に担当職員がご家族とのお話しの機会をもつなど、ご意向の聴取に努めている。				
事故等補償費用の支払い	期 日	事故状況	内 容	補償内容	金 額
	7月19日	歩行時の転倒	打撲・切傷	請求中	—
	8月10日	車椅子移乗時 打撲	骨折・治療	慰謝料 医療費	— 384,446円
	11月8日	歩行時の転倒	骨折・治療	慰謝料 医療費	— 8,400円
	11月9日	車椅子移乗時 打撲	骨折・治療	慰謝料 医療費	— 69,800円